



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



例会記録 2007. 2. 14 (水) 通算1376回

ソング 「我等の生業」「歓迎歌」
 本日のゲスト 信原 智彦 様 (高砂R.C.) 田中 泰生 様 (高砂R.C.)
 出席報告 2月14日 会員数 59名 欠席者14名 出席率 75.00%
 (この内出席免除者2名, 病欠1名)
 1月31日 会員数 59名 欠席者6名 出席率 89.29% <修正による>
 (この内出席免除者2名, 病欠1名)

宝物のワンショット

⑳ 社会奉仕委員会
 副委員長 柿木 國夫 さん
 [サンライズ工業(株) 代表取締役]



私の大好きな政治家である海部俊樹先生の
 書の前で撮った25年前の家族のワン
 ショットです。
 後列左から 私・國夫 (42才) ,
 妻・賀世子, 長女・姿寿子 (14才)
 前列左から 長男・貴智 (11才) ,
 次女・克予 (7才)
 (昭和57年1月1日撮影)



その年、書のお礼に東京の海部先生の事
 務所へお伺いした時のワンショットで
 す。
 (昭和57年3月撮影)

柿木 國夫

卓話 (2月14日例会)

遺産の分割 (分配) について

プログラム委員会 委員長 鹿間行雄 さん
 (司法書士 鹿間行雄事務所 所長)

1. はじめに

旧民法では、「家」制度の考え方が基本となっており、遺産は、長子単独相続 (家督相続) が原則である。

新民法では、男女の本質的平等思想に基づき、配偶者を除く相続人は平等とする制度が新しく導入された。

この二つの考え方の対立に根ざした相続人間の紛争が年毎に増加してきている。



卓話される鹿間会員

2. 遺産分割の基本的な考え方

亡くなった人が死亡時に残した遺産 + 生前贈与等 - 寄与分 = みなし相続財産
 みなし相続財産 × 法定相続分 = 各人の仮の分割額
 生前贈与等を受けている者の分割額 = 各人の仮の分割額 - 生前贈与等
 寄与をした者の分割額 = 各人の仮の分割額 + 寄与分

3. 遺産分割の形態

① 遺言 ② 相続人全員による協議 ③ 調停 ④ 審判

4. 遺産分割の方法

① 現物分割 ② 代償分割 ③ 換価分割

5. 遺産には、どのようなものがあるか

① 現金, 預貯金 ② 不動産, 株式, 特許権, 動産類 ③ 生命保険金 ④ 死亡退職金
 ⑤ 墳墓, 仏壇等の祭具 ⑥ 債務

会長 志方正昭 幹事 中右和宏 クラブ会報委員長 竹原俊三
 例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)
 事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)

本誌は、職場や家庭に持ち帰って、皆さんで一緒に読み下さい。

President 会長の時間

今日は『クラブ会報（所謂「週報」）』についてお話したいと思います。歴代「クラブ会報委員会」の委員長、委員の方は、例会後いつも居残り、次回例会時に配布するクラブ会報の作成に精を出して素晴らしいクラブ会報を発行し続けています。私は、例会毎に見るのを楽しみにしています。今年の週報の特徴は、会員だけでなく、家族、職場の方といった対外的な要素を含んだクラブ会報になっております。

先日も『新春家族例会にご参加頂いた奥様の皆さんへ』と言うタイトルで週報を送って頂きました。有難うございました。この事はR.I.会長のテーマの強調事項に挙がってます『ロータリー家族』を率先しているものだと思います。「あなたの運を開くゴールデンルール」「宝物のワンショット」等々、会員の皆さんだけでなくご家族並びに職場の皆さんでこれからも週報を楽しんで頂ければ幸いです。

Secretary 幹事報告

第26回 通算1304回

1. ガバナー事務所より
 - ① ロータリアン誌が届いております。
 - ② 加藤ガバナーより
公式訪問のお礼として「和歌集」を全会員に一冊ずついただいております。
2. 米山記念奨学会事務局より
アンケート調査への回答の依頼
調査目的：外国人留学生（元留学生を含む）の日本での就職または雇用について、当会関係者の意識調査を行い、今後の方向性についての基礎資料とする。
調査方法：インターネット調査
調査期間：2007年2月1日(木)～2月20日(火)



Donation ニコニコ報告

栗原 康高
より高レベルな食の安全安心を求める新工場が完成しました。「浜風工場」と名付けました。京谷会員他大変御世話になりました。

菱田 克己・志方 正昭・砂川 仁央
増田耕太郎・柿木 國夫・渡辺 弥生
花を飾りましょう。

鹿間 行雄
卓話をさせていただきます。よろしくお願ひ致します。

佐野 栄作
2月17日（土曜）16時から17時の間、松陽中学校が出場したマーチング全国大会がNHK BS2で放送されます。東播第2グループのI.M.と重なっていますが録画でもしてご覧ください。

矢野 聡
宝物ワンショットの写真を探している時、他の古い写真も見て懐かしく思いました。

藤本 明久
誕生日お祝有難うございました。本年年男です。

田中 伸明
誕生日ありがとうございます。

匿名希望
本日から禁煙しました。

竹原 俊三
矢野先生、写真提供有難うございました。お陰様で立派な「宝物のワンショット」ができました。次回（2月28日発行号）は、柿木さんが登場します。お楽しみ下さい。

花を飾ろう



バレンタインデーですので、皆さんに見て楽しんで頂ける様に、チョコレートもお花と一緒にアレンジしました。

菊地敬子

30周年実行委員長 柿木國夫さんの挨拶



プログラム予定

2月28日(水)	3月7日(水)	3月14日(水)	3月21日(水)
【国際奉仕委員会担当】	職場例会 サントリー(株)高砂工場 PM12:30 【職業奉仕委員会担当】	高砂R.C.との合同例会 PM12:30～ 於:高砂神社会館 【プログラム委員会担当】	休会

第2680地区 東播第2グループ Intercity Meeting (IM)記念事業プログラム

開催日 平成19年2月17日(土曜)

会場 加古川市民会館小ホール

フォーラムディスカッション

テーマ あなたにもできる この国の少子化対策

講師.....	フリージャーナリスト	岩上 安身氏
コーディネーター.....	作家	玉岡かおる氏
問題提起者.....	里親を代表して	川端 信一氏
	仕事を持つ女性代表	大西 優子氏
	若者を代表して	松森 徹氏



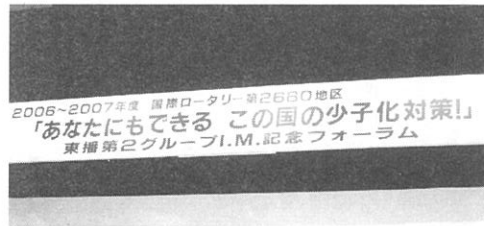
主催者挨拶をされる東播第2グループ
ガバナー補佐 藤本邦憲さん



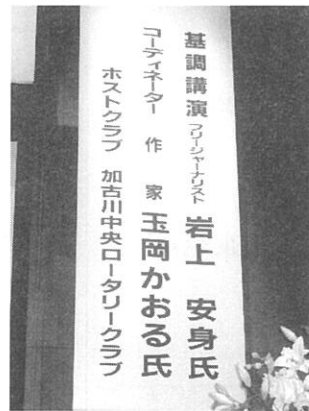
I.M.会場風景 その1



コーディネーター役の
作家 玉岡かおるさん



I.M.会場風景 その2



I.M.会場風景 その3



基調講演をされる
フリージャーナリスト 岩上安身さん



パネルディスカッション風景その1



パネルディスカッション風景
その2

基調講演の論旨

- ・少子化が高齢化社会を生み、人口減少傾向の原因となる。少子化と高齢化と人口減少は、三位一体である。
 - ・少子化は、日本の将来にとって大きく、かつ重いテーマである。戦後日本は、血縁共同体、地域共同体が急激に崩壊して来たので、75才超の女性が特に「最晩年を誰に面倒を見て貰って暮らすのか」という重い課題を抱えている。
 - ・昭和48年、田中角栄内閣が「福祉元年」を掲げ、年金受給条件を大幅に改善したことが、少子化の“引き金”となり、経済成長率の大幅ダウン、国・地方財政構造の破綻とも相俟って、私達と子孫の世代にとって“重い重い荷物”となっている。
 - ・「少子化対策」「高齢化対策」「人口減少対策」で色々な意見が出され、多くの評論がなされているが、「何が真実か？」について私達は冷静で、客観的な判断が大切である。政治家を中心にして本末を転倒させたミスリードの発言が多いので、十二分に気をつける必要がある。
 - ・日本の将来を見据える参考となる先進事例は、旧ソ連・ロシアである。高齢者を見捨てることにより、結果として年金破綻の解決を図った。日本人も十分気をつけないと気づいた時は、旧ソ連・ロシアと同じ憂き目を見ている危険性がある。
 - ・少子化対策は、子供を産み、育てる環境にある夫婦にはできるだけ多くの子供を産んで貰い、その環境にない人達は、このサポートに回る。このようなコンセンサスを早急に日本国内に形成する必要がある。
- 男性より女性がこの役回りを特に意識することが、翻って「自らの身を守る」ことに繋がることを早く共通認識とすることが大切である。特に、生涯独身を貫こうとしている女性や事情があって寡婦となった人にとって、血縁と地域社会に頼れない現状では、より多くの15才以上65才未満の層を作って、社会保険制度の財政基盤を確保し、この社会保険制度に「私の最晩年の面倒を見て貰おう」という思いに早く到ることが大切ではないか。
- ・また、結婚しない理由の隠れた大きな真因は、実は「私はパートナーに裏切られるかもしれない」「私はパートナーを裏切るかもしれない」という（自らに対することも含め）“人間不信”にある。
- このような精神的崩壊や血縁共同体の崩壊、地域共同体の崩壊に、早く手を打たないと日本の国、社会は崩れてしまう。
- ・「家族(血)の絆」「地域社会における助け、助けられる思い遣り」の再構築が、「少子化」「高齢化」「人口減少」対策の回り道のものであって、実は最も近道の処方箋である。個人主義も大切ではあるが、「個」を大切にしながら、「色々な“共同体”を大切に作る心」「お互いに寄り合う心」「助け、助け合う心」が、大切になっていることに日本人は早く気づくことが、生涯にわたる“幸せづくり”にとって大切である。

(文責 高砂青松ロータリークラブ会報委員会)

以上